

調 査 結 果

(市民・事業者・団体共通設問)

市民・事業者・団体調査の共通設問項目について

共通設問 1

- <市民> 問2 あなたは、どのような環境分野に関心がありますか。
次の中からあてはまるもの全てに○をつけてください。
- <事業者> 問1 貴社が関心のある環境問題は、次のうちどれですか。
- <団体> 問2 貴団体が関心のある環境分野は、次のうちどれですか。

解析結果

各調査の回答を比べると、関心のある環境分野や環境問題に違いがみられました。

設問で使用した環境分野や環境問題の各項目について、『地球環境』、『生活環境』、『自然環境』、『循環型社会』の4つの分野に分類して整理した場合、各調査で最も高かった回答は、市民調査では『地球環境』、事業者調査は『循環型社会』、団体調査は『生活環境』に関する環境分野でした。

市民調査の上位回答は「(12) 大雨、大雪などの異常気象」、「(1) 地球温暖化など地球規模の環境問題」『地球環境』、「(13) 空き家、空き地、耕作放棄地などの未利用地の増加」『生活環境』などでした。

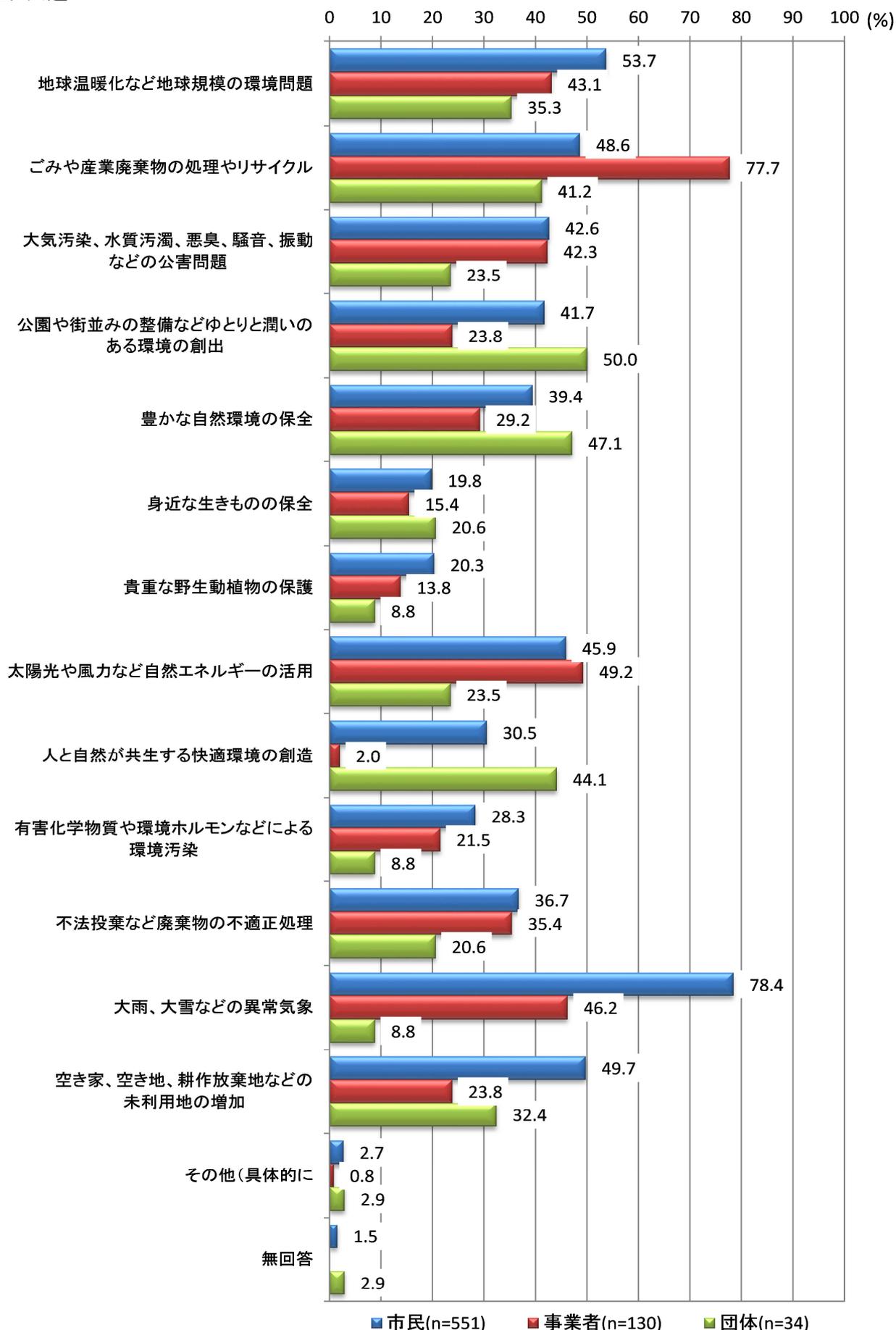
事業者調査の上位回答は「(2) ごみや産業廃棄物の処理やリサイクル」『循環型社会』、「(8) 太陽光や風力など自然エネルギーの活用」『地球環境』、「(12) 大雨、大雪などの異常気象」『地球環境』などでした。

団体調査の上位回答は「(2) 公園や街並みの整備などゆとりと潤いのある環境の創出」『生活環境』、「(5) 豊かな自然環境の保全」『自然環境』、「(9) 人と自然が共生する快適環境の創造」『自然環境』などでした。

表 共通 1

| | 項目名 | 市民(n=551) | 事業者(n=130) | 団体(n=34) | 分野分類 |
|----|---------------------------|-----------|------------|----------|-------|
| 1 | 地球温暖化など地球規模の環境問題 | 53.7% | 43.1% | 35.3% | 地球環境 |
| 2 | ごみや産業廃棄物の処理やリサイクル | 48.6% | 77.7% | 41.2% | 循環型社会 |
| 3 | 大気汚染、水質汚濁、悪臭、騒音、振動などの公害問題 | 42.6% | 42.3% | 23.5% | 生活環境 |
| 4 | 公園や街並みの整備などゆとりと潤いのある環境の創出 | 41.7% | 23.8% | 50.0% | 生活環境 |
| 5 | 豊かな自然環境の保全 | 39.4% | 29.2% | 47.1% | 自然環境 |
| 6 | 身近な生きものの保全 | 19.8% | 15.4% | 20.6% | 自然環境 |
| 7 | 貴重な野生動植物の保護 | 20.3% | 13.8% | 8.8% | 自然環境 |
| 8 | 太陽光や風力など自然エネルギーの活用 | 45.9% | 49.2% | 23.5% | 地球環境 |
| 9 | 人と自然が共生する快適環境の創造 | 30.5% | 2.0% | 44.1% | 自然環境 |
| 10 | 有害化学物質や環境ホルモンなどによる環境汚染 | 28.3% | 21.5% | 8.8% | 生活環境 |
| 11 | 不法投棄など廃棄物の不適正処理 | 36.7% | 35.4% | 20.6% | 循環型社会 |
| 12 | 大雨、大雪などの異常気象 | 78.4% | 46.2% | 8.8% | 地球環境 |
| 13 | 空き家、空き地、耕作放棄地などの未利用地の増加 | 49.7% | 23.8% | 0.3% | 生活環境 |
| 14 | その他 | 2.7% | 0.8% | 2.9% | |
| | 無回答 | 1.5% | - | 2.9% | |
| | 計 | 539.8% | 424.2% | 370.5% | |

図 共通 1



共通設問 2

- <市民> 問3 望ましい秋田市の環境像についてお伺いします。
 将来の秋田市の環境に対してどのような姿を望みますか。
 次の中からあてはまるもの5つ以内に○をつけてください。
- <事業者> 問3 同上
- <団体> 問7 同上

解析結果

各調査で最も高かった回答は、市民調査では『生活環境』、事業者調査では『自然環境』、団体調査では『生活環境』、『循環型社会』となっています。

市民調査の上位回答は「(1) 大気汚染や水質汚濁、騒音、振動、悪臭などの公害のないまち」『生活環境』、「(3) 公園、街路樹など市街地の緑が豊かなまち」『生活環境』、「(5) 海や川などのきれいな水辺環境に親しめるまち」『自然環境』などでした。

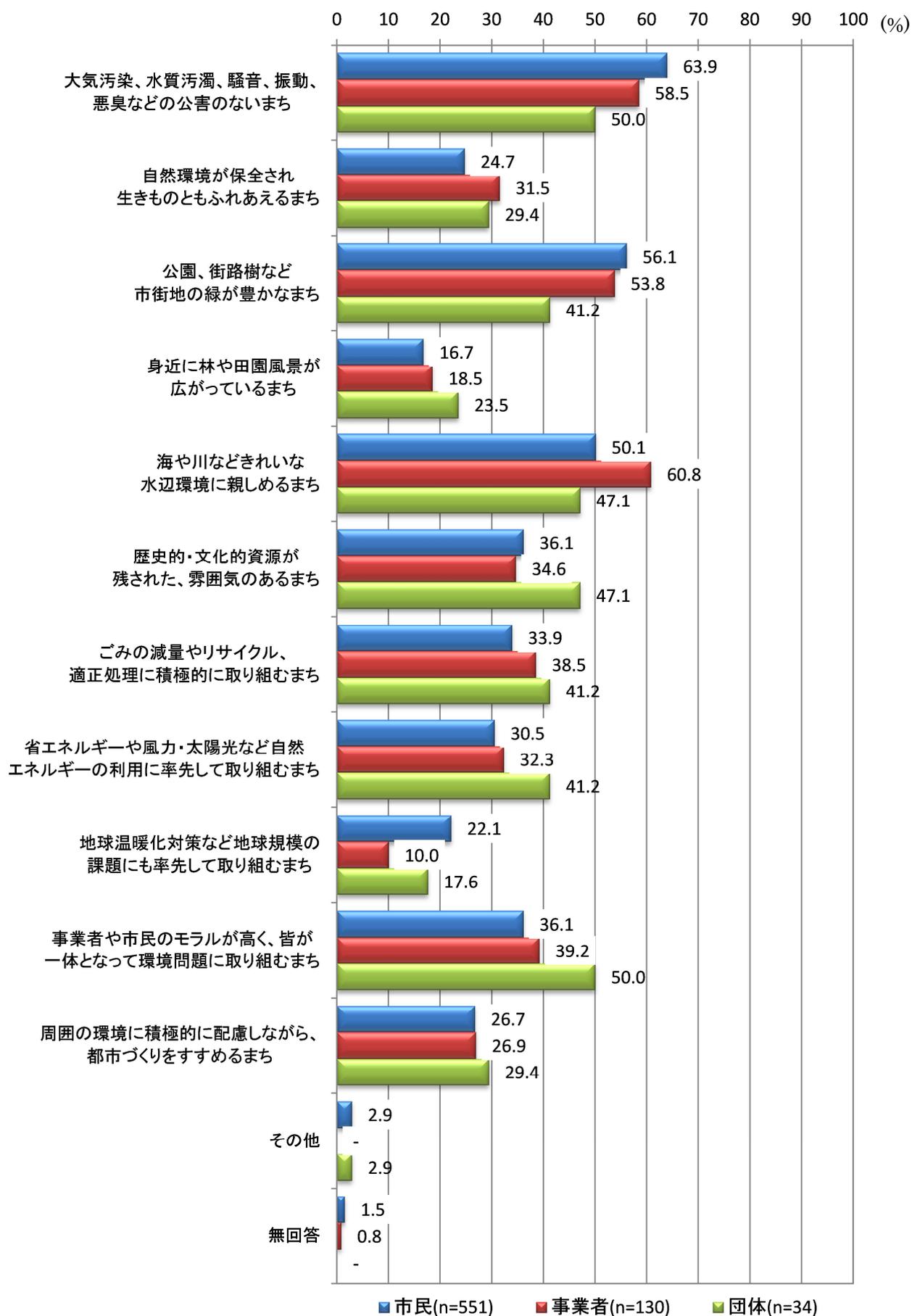
事業者調査の上位回答は「(5) 海や川などのきれいな水辺環境に親しめるまち」『自然環境』、「(1) 大気汚染や水質汚濁、騒音、振動、悪臭などの公害のないまち」『生活環境』、「(3) 公園、街路樹など市街地の緑が豊かなまち」『生活環境』などでした。

団体調査の上位回答は「(1) 大気汚染や水質汚濁、騒音、振動、悪臭などの公害のないまち」『生活環境』、「(10) 事業者や市民のモラルが高く、皆が一体となって環境問題に取り組むまち」『循環型社会』、「(5) 海や川などのきれいな水辺環境に親しめるまち」『自然環境』、「(6) 歴史的・文化的資源が残された、雰囲気のあるまち」『生活環境』などでした。

表 共通 2

| | 項目名 | 市民 (n=551) | 事業者 (n=130) | 団体 (n=34) | 分野分類 |
|----|--------------------------------------|------------|-------------|-----------|-------|
| 1 | 大気汚染、水質汚濁、騒音、振動、悪臭などの公害のないまち | 63.9% | 58.5% | 50.0% | 生活環境 |
| 2 | 自然環境が保全され生きものともふれあえるまち | 24.7% | 31.5% | 29.4% | 自然環境 |
| 3 | 公園、街路樹など市街地の緑が豊かなまち | 56.1% | 53.8% | 41.2% | 生活環境 |
| 4 | 身近に林や田園風景が広がっているまち | 16.7% | 18.5% | 23.5% | 自然環境 |
| 5 | 海や川などきれいな水辺環境に親しめるまち | 50.1% | 60.8% | 47.1% | 自然環境 |
| 6 | 歴史的・文化的資源が残された、雰囲気のあるまち | 36.1% | 34.6% | 47.1% | 生活環境 |
| 7 | ごみの減量やリサイクル、適正処理に積極的に取り組むまち | 33.9% | 38.5% | 41.2% | 循環型社会 |
| 8 | 省エネルギーや風力・太陽光など自然エネルギーの利用に率先して取り組むまち | 30.5% | 32.3% | 41.2% | 地球環境 |
| 9 | 地球温暖化対策など地球規模の課題にも率先して取り組むまち | 22.1% | 10.0% | 17.6% | 地球環境 |
| 10 | 事業者や市民のモラルが高く、皆が一体となって環境問題に取り組むまち | 36.1% | 39.2% | 50.0% | 循環型社会 |
| 11 | 周囲の環境に積極的に配慮しながら、都市づくりをすすめるまち | 26.7% | 26.9% | 29.4% | 生活環境 |
| 12 | その他 | 2.9% | - | 2.9% | |
| | 無回答 | 1.5% | 0.8% | - | |
| | 合計 | 401.3% | 405.4% | 420.6% | |

図 共通 2



共通設問3 過去5年のうち、市民生活において環境問題への秋田市の仕組みや取組がどのように変化したか。あなたの感じている状況に近いものを1つだけ選んで○をつけてください。
 <市民調査 問4、事業者調査 問4、団体調査 問8>

解析結果

秋田市の仕組みや取組の変化について、各調査の回答率に以下のような違いがありました。

「十分行われている」、「以前と変わらない」、「以前より悪くなった」の3項目は、各調査の回答率の差が5%未満でほぼ同じ回答率となっています。

「徐々に行われている」は、市民調査の回答が35.9%で他調査に比べ約17ポイント低く、「わからない」では、市民調査の回答が25.2%で他調査に比べ約14ポイント高くなっています。

「わからない」が多い点については、市の情報発信のあり方が課題となります。

満足度％評価による満足ポイント（以降「P」と表記）では、事業者調査が24.7P、団体調査が26.5Pと一定の評価があるのに対し、市民調査が5.1Pと低い評価となりました。また、満足度評価でも、事業者調査が[2.67]、団体調査が[2.66]であるのに対して、市民調査が[2.53]と評価が低い結果となっています。

表 共通3

| | 項目名 | 市民 (n=551) | 事業者 (n=130) | 団体 (n=34) |
|-------|-----------|------------|-------------|-----------|
| 1 | 十分に行われている | 2.4% | 3.8% | 2.9% |
| 2 | 徐々に行われている | 35.9% | 52.4% | 53.0% |
| 3 | 以前と変わらない | 30.5% | 30.0% | 26.5% |
| 4 | 以前より悪くなった | 2.7% | 1.5% | 2.9% |
| 5 | わからない | 25.2% | 11.5% | 11.8% |
| | 無回答 | 3.3% | 0.8% | 2.9% |
| A=1+2 | 《満足である》 | 38.3% | 56.2% | 55.9% |
| B=3+4 | 《不満である》 | 33.2% | 31.5% | 29.4% |
| C=A-B | 満足ポイント | 5.1 | 24.7 | 26.5 |

図 共通3① 満足度評価

※満足度評価・・・回答数に点数をかけた合計を、設問の全回答数（無回答・わからない除く）で除したものを、[2.5]を基準とし[4.0]に近づくほど満足度が高く[1.0]に近づくほど低いことを表します。

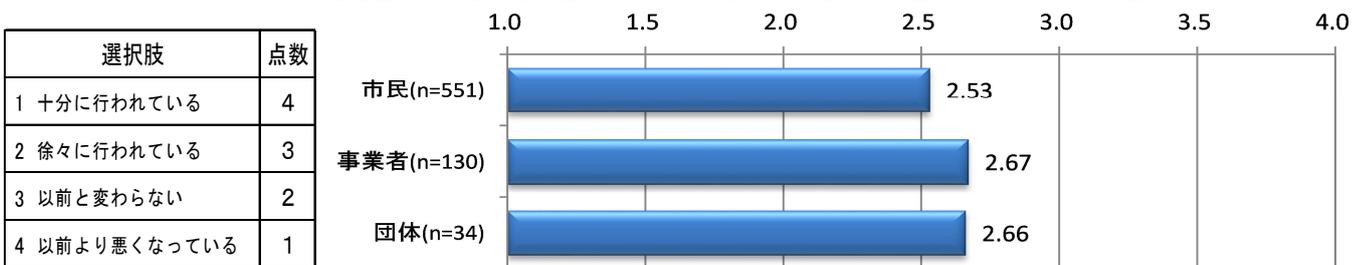
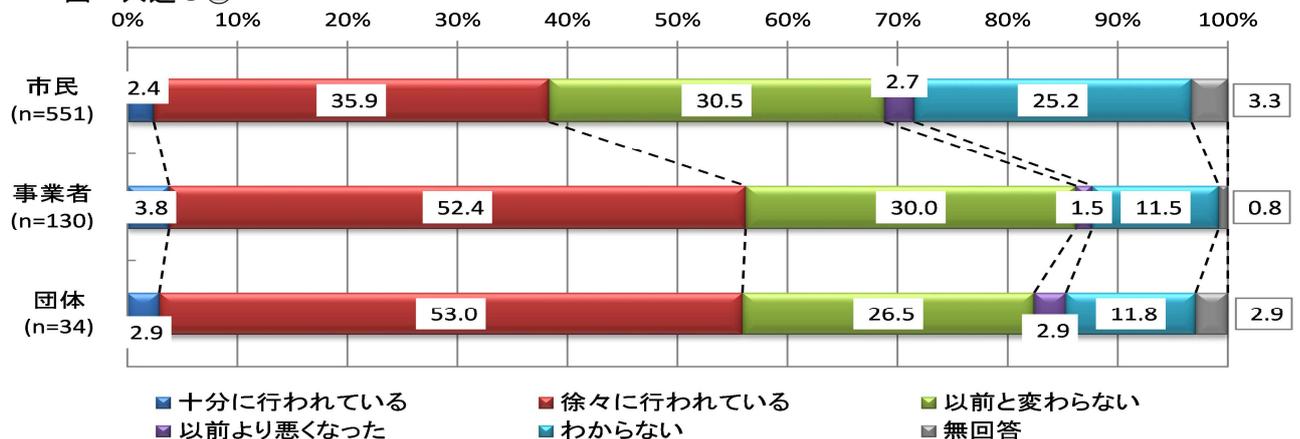


図 共通3②



共通設問 4 市が行っている環境関連の情報発信について満足度

<市民調査 問8-1、事業者調査 問7-1>

解析結果

市の情報発信について、回答項目を《満足である》、《不満である》にあてはめた満足度%評価による満足ポイントでは、市民調査 18.2P、事業者調査 20.0P とほぼ同じ評価となっています。また、満足度評価では、事業者は[2.65]に対して市民が[2.73]で事業者より市民からの評価が高い結果となりました。

表 共通 4

| | 項目名 | 市民 (n=551) | 事業者 (n=130) |
|-------|-----------|------------|-------------|
| 1 | 満足している | 8.3% | 3.8% |
| 2 | やや満足している | 27.9% | 36.2% |
| 3 | やや不満である | 12.7% | 15.4% |
| 4 | 不満である | 5.3% | 4.6% |
| 5 | どちらともいえない | 42.9% | 37.7% |
| | 無回答 | 2.9% | 2.3% |
| A=1+2 | 《満足である》 | 36.2% | 40.0% |
| B=3+4 | 《不満である》 | 18.0% | 20.0% |
| C=A-B | 満足ポイント | 18.2 | 20.0 |

図 共通 4① 満足度評価

※満足度評価・・・回答数に点数をかけた合計を、設問の全回答数（無回答・どちらともいえない除く）で除した
もの。

[2.5]を基準とし[4.0]に近づくほど満足度が高く[1.0]に近づくほど低いことを表します。

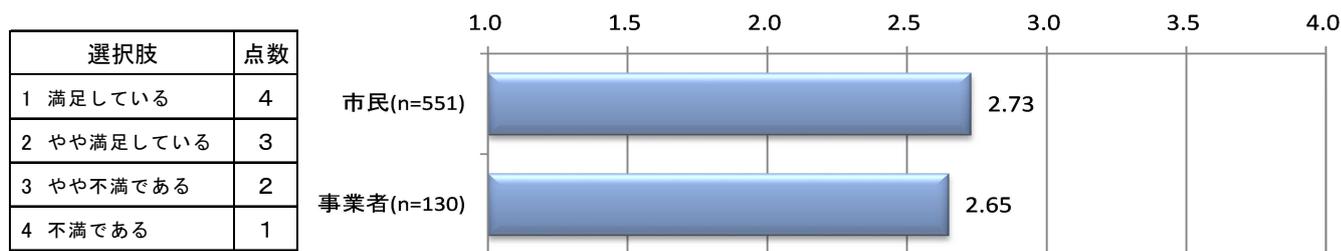
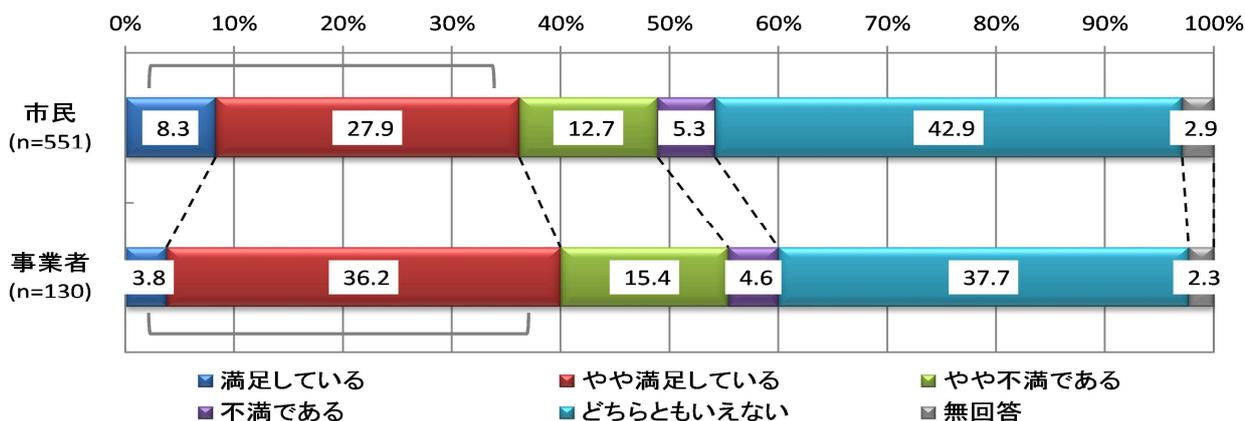


図 共通 4②



共通設問5 市が行う環境関連の情報発信の有効な方法

<市民調査 問8-2、事業者調査 問7-2>

解析結果

市の情報発信の効果的な方法として、回答率が高い上位2位は、市民調査、事業者調査ともに、「(1)広報あきた」が8割以上で、「(5)広報テレビ、ラジオ」も6割を超えています。

市民調査では、「(9)新聞」がおおよそ5割で3位、「(10)地域の掲示板や回覧板」が3割台の4位と続いています。

事業者調査では、「(2)秋田市ホームページ」、「(9)新聞」が約5割で3位、4位と続いています。

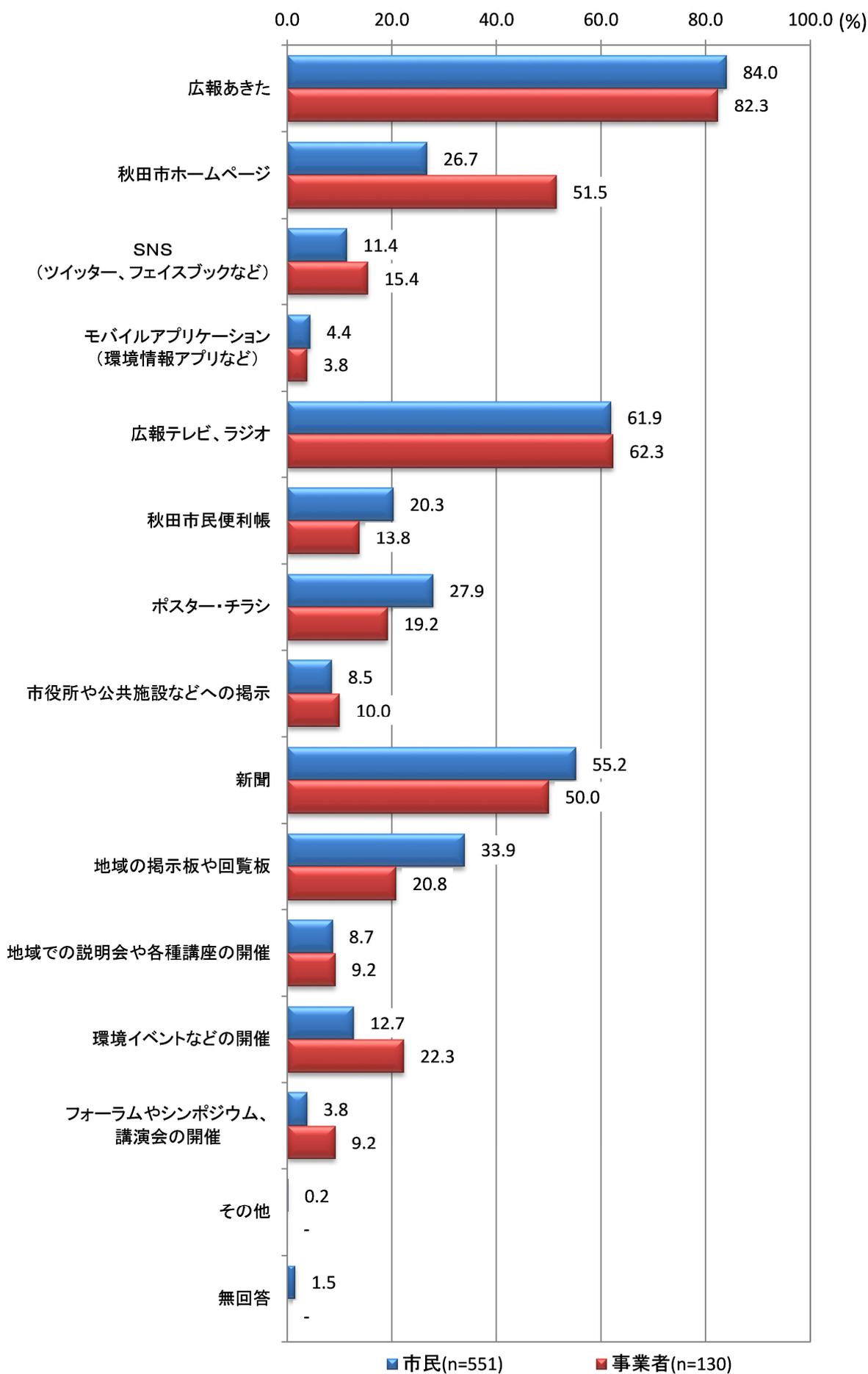
事業者への情報発信については、「(2)秋田市ホームページ」の回答が市民調査のおよそ2倍にあたり、「(9)新聞」の回答も5割と高く、ホームページ・新聞による情報提供は事業者に有効な手段と言えます。

また、近年利用が広がっている「(3) SNS (ツイッター、フェイスブックなど)」は、市民調査では18~29歳までの年齢層(n=62)では約4割を占めますが【市民調査の表8-2②参照】、全体では11.4%にとどまり、事業者調査の15.4%に比べ4ポイント低くなっています。

表5

| | 項目名 | 市民(n=551) | 事業者(n=130) |
|----|-----------------------------|-----------|------------|
| 1 | 広報あきた | 84.0% | 82.3% |
| 2 | 秋田市ホームページ | 26.7% | 51.5% |
| 3 | SNS (ツイッター、フェイスブックなど) | 11.4% | 15.4% |
| 4 | モバイルアプリケーション (環境情報アプリなど) | 4.4% | 3.8% |
| 5 | 広報テレビ、ラジオ | 61.9% | 62.3% |
| 6 | 秋田市民便利帳 | 20.3% | 13.8% |
| 7 | ポスター・チラシ | 27.9% | 19.2% |
| 8 | 市役所や公共施設などへの掲示 | 8.5% | 10.0% |
| 9 | 新聞 | 55.2% | 50.0% |
| 10 | 地域の掲示板や回覧板 | 33.9% | 20.8% |
| 11 | 地域での説明会や各種講座の開催 | 8.7% | 9.2% |
| 12 | 環境イベントなどの開催 | 12.7% | 22.3% |
| 13 | フォーラムやシンポジウム、 講演会の開催 | 3.8% | 9.2% |
| 14 | その他 | 0.2% | - |
| | 無回答 | 1.5% | - |
| | 合計 | 361.1% | 369.8% |

図 5



共通設問6 今後、市に期待する環境に関する施策

<市民調査 問9、事業者調査 問6>

解析結果

市に期待する環境施策について、最も回答率が高い施策は、市民調査では「(8) 学校での環境教育の充実」、事業者調査では「(1) 環境施策に関する情報発信の充実」となっています。

1位回答は、市民調査、事業者調査のそれぞれ2位の回答となっており、この2つの施策は重要な施策と位置づけられます。

市民調査では、次いで「(2) 環境に関する広報活動、イベントなどの開催」が4割台の比較的高い回答率で続き、他の項目は3割以下となっています。

事業者調査では、次いで「(4) 市有施設への積極的な環境対策の導入」が4割、「(2) 環境に関する広報活動、イベントなどの開催」、「(6) 市民、事業者の環境関連活動への物品提供、補助金などの支援」が3割台の回答率で続き、他の項目は3割以下となっています。

表 共通6

| | 項目名 | 市民(n=551) | 事業者(n=130) |
|----|------------------------------|-----------|------------|
| 1 | 環境施策に関する情報発信の充実 | 50.3% | 53.8% |
| 2 | 環境に関する広報活動、イベントなどの開催 | 42.3% | 34.6% |
| 3 | 法令や条例などによる規制や指導の強化 | 21.2% | 24.6% |
| 4 | 市有施設への積極的な環境対策の導入 | 24.3% | 39.2% |
| 5 | 環境に関する普及啓発施設の整備 | 13.1% | 17.7% |
| 6 | 市民、事業者の環境関連活動への物品提供、補助金などの支援 | 27.4% | 32.3% |
| 7 | 市民、事業者向け環境学習会の開催 | 16.0% | 18.5% |
| 8 | 学校での環境教育の充実 | 52.3% | 45.4% |
| 9 | 環境関連活動などに取り組む市民団体やグループへの支援 | 23.8% | 21.5% |
| 10 | 環境や生きものに関する調査・研究の推進 | 12.7% | 12.3% |
| 11 | 自然環境保全地区の指定や野生生物保護の推進 | 14.2% | 10.0% |
| 12 | その他 | 1.6% | 1.5% |
| | 無回答 | 5.4% | 1.5% |
| | 合計 | 304.6% | 312.9% |

図 共通 6

